

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第3号 H28年8月
編集：SSH推進委員会
発行責任者：太田淳子

「課題探究」中間報告会

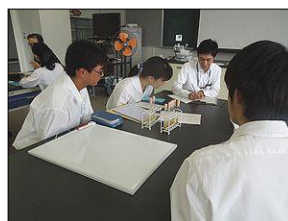
7月13日（水）に、理数科2年生の学校設定科目「課題探究」において、課題研究の中間報告会（こまつ研究サポートプログラムによる報告会）を行いました。この報告会には金沢工業大学から草野英二先生、岡本正人先生、織田光秋先生、谷田育宏先生、北陸先端科学技術大学院大学から上原隆平先生、國藤進先生、石川県立大学から中谷内修先生、小椋賢治先生に参加していただきました。生徒たちは、グループごとに研究の目的や内容、現在の進捗状況などを説明し、大学の先生方には、実験の方法や今後の研究の進め方などについて、専門的な視点からのアドバイスをしていただきました。

大学の先生から直接アドバイスを受けることで、これから研究を進めていくための方法、アイデア、着眼点、注意すべき点など多くのことを学ぶことができ、また、研究活動に対するモチベーションを高めることもできたので、生徒たちにとってとても有意義な時間となりました。

<H28 課題研究テーマ>

（7月現在）

- ・ 限定じゃんけん
- ・ 複数の円の面積を2等分する直線の本数について
- ・ 紙飛行機
- ・ ボールの空気圧と反発係数の関係
- ・ 空気による運動の減衰について
- ・ 糸電話における音の伝達について
- ・ 小松高校におけるチョークの再生
- ・ 音楽による植物の生育の影響について
- ・ コウジカビによる生分解性プラスチックの分解
- ・ むか漬けによるナスの変色



SSH特別講義（科学探究）

7月11日（月）に東北大学工学部電気情報物理工学科教授の金子俊郎先生が来校され、理数科と普通科理系の3年生を対象に、「プラズマテクノロジーが創る未来社会ー新規ナノ物質創製から医療・農業応用までー」というテーマで、学校設定科目「科学探究」の特別講義をしていただきました。今回の講義では、プラズマの基礎知識から様々な分野（核融合、ナノテクノロジー、ライフサイエンス、エコロジー、プラズマ農業など）におけるプラズマの応用や将来性などについて、演示実験もまじえながら、わかりやすく説明していただきました。



SSH特別講義（課題探究Ⅰ・探究基礎）

7月14日（木）に石川県立大学生物資源工学研究所の中谷内修先生が来校され、理数科と普通科の1年生を対象に、「課題研究の進め方」というテーマで、学校設定科目「課題探究Ⅰ」「探究基礎」の特別講義をしていただきました。今回の講義では、課題研究を楽しむこと、チームワークを大切にするなど、これから課題研究に取り組む上での心構えについてのお話をさせていただきました。



小学生向け実験教室「自由研究のヒント講座」

本校の生物部、理化部、理数科の生徒が合同で、毎年大好評の「自由研究のヒント講座」を開催しました。今年7月1日（金）に小松市立中海小学校で5、6年生を対象に、また、7月2日（土）と7月16日（土）にサイエンスヒルズこまつで近隣の小学生を対象に開催しました。中海小学校の5、6年生やサイエンスヒルズこまつに来場してくれたたくさんの小学生たちは、みんな熱心に実験に取り組んで、質問もたくさんしてくれました。

●自由研究のヒント講座テーマ●

《 中海小学校 & 7月2日 》

- ・スーパーボールを作ろう！
- ・葉脈標本をつくろう！
- ・飲み物を長く保冷するには？
- ・身近なものからDNAを取り出してみよう！
- ・強い橋をつくってみよう！
- ・偏光板を使ってあそぼう！

《 7月16日 》

- ・コロイドをさがそう！
- ・ワイングラスで音をならしてみよう！！
- ・画用紙でプロペラを作ろう！
- ・ムラサキキャベツで指示薬をつくろう！
- ・スピーカーをつくろう！
- ・電子レンジでものをあたためてみよう！



中海小学校



サイエンスヒルズこまつ (7/2)



サイエンスヒルズこまつ (7/16)



SSH教員 校内研修

6月30日（木）に本校のSSH運営指導委員である金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授の本所恵先生が来校され、本校の教員を対象に「アクティブ・ラーニングの評価を考える」というテーマで講義をしていただきました。活発な質疑応答が行われ、探究活動における評価方法の開発の参考になりました。

